

徳島県主催「とくしま防災フェスタ」に参加

～ 自然災害に備える保険や悪質な住宅修理業者を周知 ～

一般社団法人 日本損害保険協会四国支部徳島損保会（会長：橋口 信也：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・徳島支店長）では、日本損害保険協会が掲げる第9次中期基本計画の柱の一つである「災害に強い社会の実現」の取組みの一環として、徳島県損害保険代理業協会と一緒に徳島県主催の「とくしま防災フェスタ」に参加しました。

当支部は、ブースに立ち寄っていただいた約300名に、①火災保険や地震保険に関するクイズ、②ハザードマップの利用状況、③悪質な住宅修理業者に関するアンケートを実施しました。

【クイズやアンケートを踏まえた傾向】

- ・徳島県の地震保険料が全国的に高いことに驚かれる方が多数いました。
- ・地震や噴火、津波による損害は火災保険で補償されると思っている方がいました。
- ・ハザードマップはほとんどの方が「見たことがある」と回答されていました。
- ・無料で住宅修理ができるという勧誘が業者からあった場合、「分からない」と回答された方が一定数いました。

当支部は、クイズやアンケートを通じて地震保険の必要性や防災・減災の重要性について啓発活動を行いました。また、子どもも多数来場されたため、子ども用のぼうさいクイズを用いて防災の重要性を学んでもらいました。

なお、当日は約2,000名が来場され、徳島県の防災意識の高さを感じました。

当支部では、引続き行政等と連携しつつ、災害に強い社会の実現を目指して、防災意識向上に係る取組みを推進して参ります。



損保協会のブース



クイズに回答する来場者の様子